

令和6年度

嘉手納町教育課程特例校(英会話)事業報告

～嘉手納小学校～

1 趣旨

嘉手納町教育委員会では、「進取の気象・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」を目標に、「人間力豊かで、世界にはばたく人材を育むまち かでな」の実現に向け、国際化・高度情報化など社会の変化に対応できるよう国際理解教育や情報教育を推進している。

平成21年11月9日付け、教育課程特例校の指定を受け「英会話科」を新設し、小中一貫した系統的な英語教育を行うことで、国際理解・実践的英語力(コミュニケーション能力)の育成を育むことを目的として本事業を実施した。

また、小学校に「外国語活動」、「外国語」が導入され、中学校の英語教育においてはコミュニケーション力が強化されたことから、本町の目指す「早期から英語に慣れ親しむ」、「実用的な英語力の取得」が学習指導要領に基づく教育課程へ位置づけられている。そのため、令和2年度に教育課程特例校の「英会話科」の実施を小学校1.2年生のみと変更した。

2 基本方針・目標

本町は、東洋最大の嘉手納基地を抱え、外国人も在住し、町役場への来町者への対応等、外国人と日常的に接する機会も多く、町としても英語が話せる町民を必要としている。また、町内の学校では、今後、基地内の中学校との交流・海外ホームステイ事業も期待される。あいさつや自己紹介などグローバルな視点から異文化理解を醸成する国際理解教育の推進、英語が使える日本人の育成を図るうえからも、今後益々、実践的な英会話力の育成が必要である。そこで、以下の方針・目標を定め事業推進の充実を図った。

(1) 基本方針

各学年、児童の特性に配慮した計画に基づき、早期から英語に慣れ親しませるための小学校1.2年生において英会話活動を実施する。模倣の活動を好み、繰り返し練習をするパターンプラクティスも喜んで受け入れるこの時期には、身振り・手振りや英語のリズムに合わせて体を動かしたり、歌やチャンツを覚えたり、楽しいゲームをしながら「英語を使う場」を効果的に設定していくようにする。

(2) 目標

- ① 英会話に興味・関心をもち、英語に親しむ。
- ② 英語を活用して自分の思いを伝えたり、英語を聞いて相手の考えを理解したりする。
- ③ 英会話の学習を通して、異なる文化に興味・関心をもち、もつ。

<活動目標>

身近な英単語を使つての歌や遊び(ゲーム)などの活動を通して、英語を楽しむ。

3 英会話活動における基本的指導内容

- ・歌やゲームなどを通して、英語の発音やリズムに親しむことができる。
- ・簡単な日常のあいさつができる。
- ・1～20までの数の数え方を言うことができる。
- ・身体の各部や色、曜日、動物、果物、野菜、形などの身近なものの英単語を言うことができる。
- ・英会話体操や歌、ゲームが楽しくできる。

4 教育課程

(1) 小学校教育課程編成表(令和6年度)

		第1学年	第2学年
各 教 科	国語	306	315
	社会		
	算数	136	175
	理科		
	生活	92(-10)	95(-10)
	音楽	63(-5)	65(-5)
	図画工作	63(-5)	65(-5)
	家庭		
	体育	97(-5)	100(-5)
特別の教科 道徳		34	35
外国語活動			
外国語			
総合的な学習の時間			
英会話科		25	25
特別活動		34	35
総授業時数		850	910

※時数を確保するにあたり、生活科、音楽、体育、図工、体育から充当する。

(2) 「英会話科」の評価（外国語活動、外国語との関連を考慮）

	各学年の 英会話科 評価ポイント	コミュニケー ションへの関心 意欲・態度	外国語への 慣れ親しみ	言語や文化に 関する気付き
小学校低学年	積極的な参加	簡単なあいさつ	英語の歌 ゲーム	英語の発音

5 諸調査の結果

(1) 令和6年度児童への英会話アンケート調査の結果

【目標に対するアンケートの結果】

<目標①>「英会話に興味・関心をもち、英語に親しむ。」

◆質問:英会話の授業は、楽しい(好き)ですか。

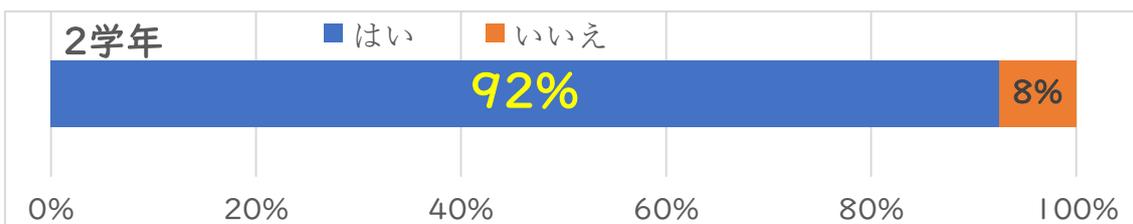


<目標②>「英語を活用して自分の思いを伝えたり、英語を聞いて相手の考えを理解したりする。」

◆質問:これからも英会話をもっと勉強したいですか。

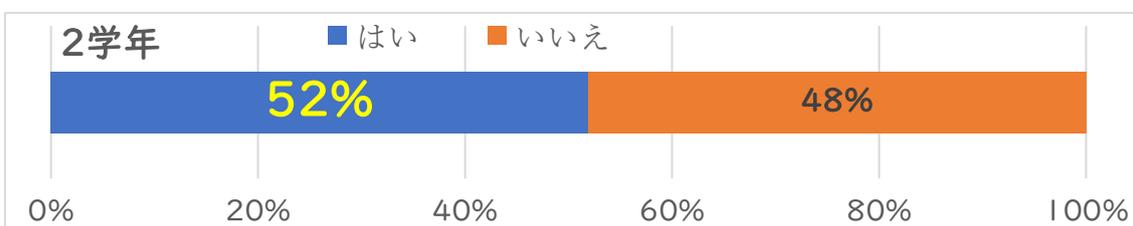
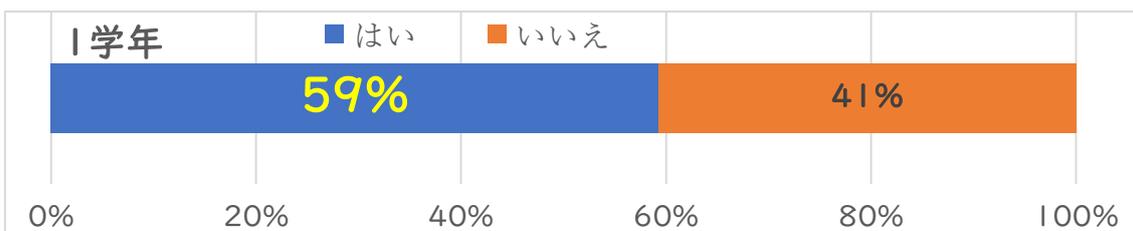


◆質問:簡単な英語であいさつすることができますか。

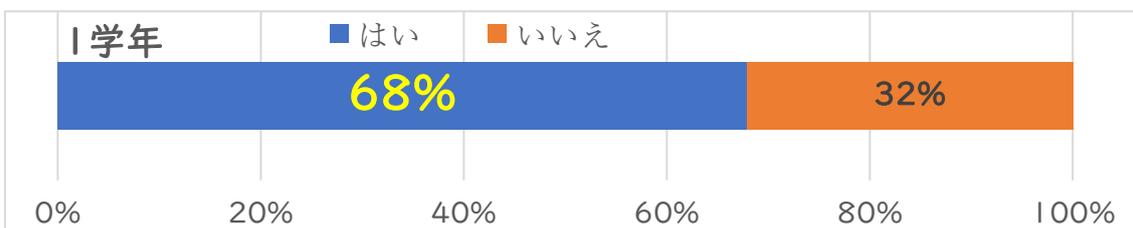


<目標③>「英会話の学習を通して、異なる文化に興味・関心をもつ。」

◆質問:英会話で習った英語を、家で話したり、使ったりすることがありますか。



◆質問:英語を使って外国語の人と話してみたいと思いますか。



6 成果と今後の課題

低学年では、英会話の授業が楽しい(好き)と答えた児童は、1年生が88%、2年生が94%となっており、英会話に対する興味関心が伺える。また、現在取り組んでいる英会話の学習が児童にとって良い影響を与えていることが分かる。

「これからも英会話もっと勉強したいですか」という質問に対して、「はい」と答えた1年生は88%、2年生は94%と多くの児童が今後の学習にも意欲を示していることが分かる。

「簡単な英語であいさつすることができますか」という質問に対して、「はい」と答えた児童は、1年生が76%、2年生が92%と学年があがるごとに、肯定的な児童が増えている。

「習った英会話を家で話したり使ったりすることや、外国人と話してみたい」という質問に対しては、肯定的な意見の数値が減少傾向にあるため、基礎的な英語を使う生活場面を取り入れ、はずかしさがやわらぐようにしていきたい。また歌やダンスなど、英語を楽しく学べる機会を多く設定し、英語をより身近なものに感じることができるようになりたい。さらに、ペアやグループ活動も制限が解除された状況にあるため、コミュニケーション(やり取り)を多く取り入れた学習活動を工夫しながら英会話に興味関心を持ち、英語に親しむ児童の育成に努めたい。